

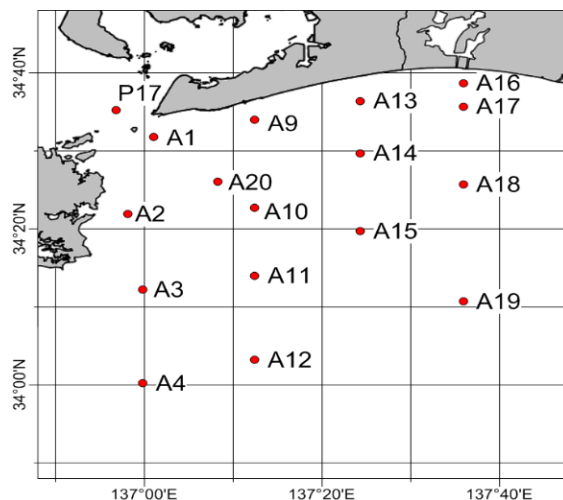
海況情報【渥美外海観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

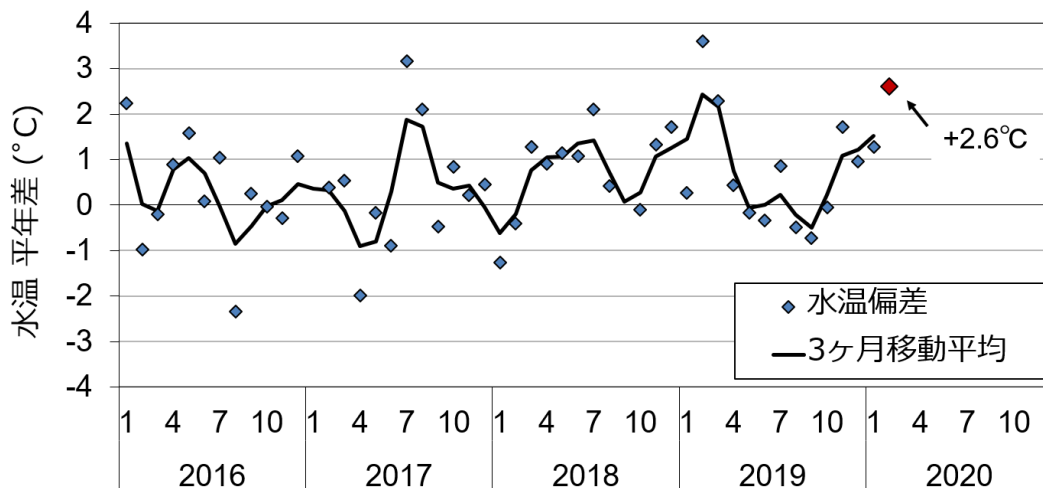
令和2年2月6日

【水温の変動】

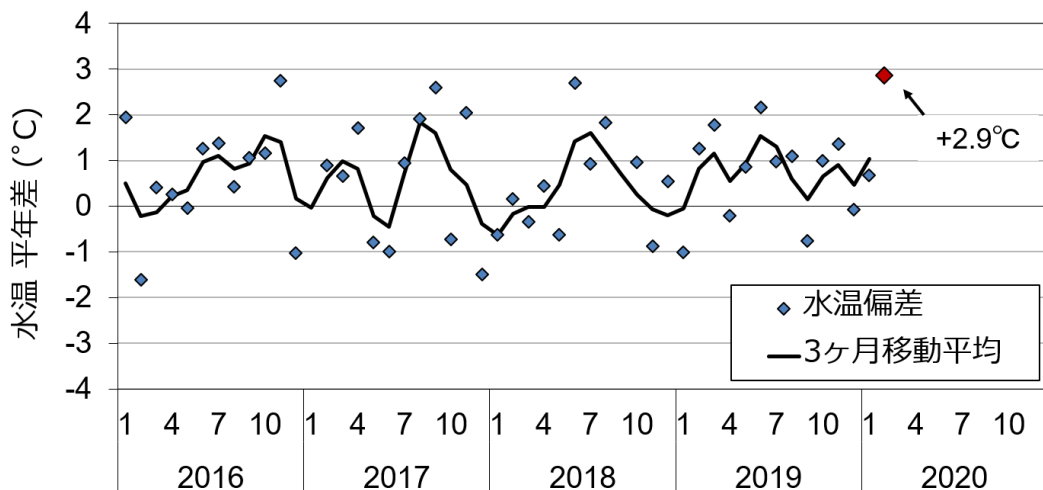
2月4,5日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。湾口部の表層水温は13.3℃、沖合域の水深200m水温は15.6℃と両海域とも平年より極めて高めでした。1月下旬の観測と比べて、水深200m水温は2℃以上昇温したことから、黒潮からの暖水流入の影響が強くなったと考えられます。



湾口部表層(A1)における水温平年差の変動



沖合域水深200m(A11とA19の平均)における水温平年差の変動



【渥美外海の海況】

渥美外海の水温は、海面で 13.3~20.2℃、水深 100m で 15.7~19.9℃、200m で 13.7~15.9℃となっていました。水温の水平分布図をみると、1月の観測と同様に海面および水深 100m、200m とともに沿岸域より沖合域のほうが高く、特に海面水温では沿岸域 (A1, A9, A13, A14, A16, A17) の平均で 15.5℃、沖合域 (A4, A12, A19) の平均は 20.0℃と、5℃近く差があります。水温の鉛直断面図をみると、水深 150m 付近まで等温線が沿岸域から沖合域にかけて右肩下がりとなっており、下り潮（東向きの流れ）となっている模様です。

水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度の鉛直断面図

